



私、さき！
砂防の「さ」と
希望の「き」なの

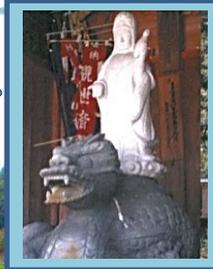
発行：新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所 平成 28 年 11 月

10月20日 立谷沢地区振興会による「龍神供養祭・砂防事業に関する講演会」

龍神供養祭



龍神観音堂



龍神供養堂は、直轄砂防事業50周年を契機に、災害の脅威を忘れないよう、治山治水の神として龍神をまつろうと建立されました。

当日は、新庄河川事務所、庄内町副町長、地元・立谷沢地区振興会の方々が集まり、参加者全員で、龍神観音に水害が起こらないよう、祈願致しました。

龍神伝説

立谷沢川流域には龍神・水神の石碑が多く見られます。昔暴れ川で洪水を引き起こす度、尊い命、田畑などの財産を奪っていました。そこで人々は水を司る神である龍神・水神を信仰することで洪水を鎮めようと考えたのです。

みなさんと顔を合わせて



新庄河川事務所長より、瀬場・六淵砂防堰堤えんていが現在取り組んでいる登録有形文化財に登録されることの効果など、『砂防施設の歴史的・文化的価値と地域振興』について講演をさせていただきました。

お話させていただきました

工事が立谷沢川の魚に影響を及ぼす恐れがあるので、「事務所では魚の放流などは考えていないのか」と地域の方から質問がありましたが、漁業協同組合の方が「組合で定期的に放流事業を行っているので特に問題ではない」と回答をして頂きました。

地域の方との意見交換

立谷沢川砂防出張所長より、現在の工事状況や月山龍神マラソンなどの広報活動、川沿いの清掃活動など、『立谷沢川砂防事業の近況』について講演をさせていただきました。

砂防に関する講演会



10月18日「庄内町 町民大学自然学部」

町民の学習意欲に応え健康で元気に学べるまちづくりを目的として、立谷沢公民館で行っている『町民大学』での講師をさせていただきました。

立谷沢公民館



いや〜…すごい!

まずは当日見学する現地の勉強…模型やDVDを見て、土石流のしくみや、それを防ぐ砂防堰堤の役割について学びました。土石流の映像の迫力に、思わず声がこぼれていました。

いよいよ工事現場へ…皆さんからは「堰堤が土砂で貯まったらどうするの?」「カメラで撮影している映像はどこで見ることができるの?」などと質問が次々にありました。普段は立ち入ることのできない場所の為、貴重な経験となったようです。

砂防工場跡地



こちらはかまどでしょうか?昔は山の中で生活しながら作業をしていることに驚いている皆さんでした。

庄内町地域おこし協力隊として、立谷沢のビデオやダムの見学は、今後の仕事にとっても役立つ事で楽しかったです!

感想…



濁沢整備工事現場



昭和12年当時の頂



平成28年度 現場レポート

その①

濁沢第8砂防堰堤

★ 濁沢はH5とH23に土砂崩落が起きた危険な場所での工事となります。その為、常に安全確認が大切です!

【出張所】



毎朝、技術係長が地すべりの変動を確認し、現場へ連絡…それから工事が開始されます。

作業中、パソコンで監視する他に、監視員が山の斜面の監視を行います。



監視員

【工事現場】



避難所

万が一、地すべりが起きた場合に設けられている避難所。安全第一で作業します。

★ そうした中での工事作業…コンクリートを流し入れて、砂防堰堤を造っている作業を見学しました。

ミキサー車で運んだコンクリートを容器に移し、クレーン車で運びます。



約20m

そおっと堰堤を造る箇所の枠の中に流し入れます。



掲示板

10月5日に行われた『SAFETY2016』において、「最上川水系立谷沢川流域赤沢ほか砂防施設整備工事」の、升川建設株式会社の渡辺 伊織氏が、優良企業(現場代理人)として表彰を受けました。

SAFETY2016 東北地方整備局長表彰



(渡辺氏：前列左から2人目)

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所
〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字堅田 20-23
TEL:0234-56-2050 FAX: 0234-56-2081
HP アドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

〈砂防資料館〉開館日：月曜日～金曜日(祝日除く)

(事前に予約があれば、土日・祝日も開館します)

開館時間：9:00-16:30 入場無料

MAP

